

26 年度の予算編成に対し、 公明党福岡市議団の要望を行いました

公明党福岡市議団は、25年12月12日福岡市役所において高島宗一郎市長に対し、平成26年度の予算に対し要望をおこないました。内容は10分野96項目と各区の要望事項を新年度の予算編成に反映されるよう要請いたしました。

昨年度は子育て支援策をはじめ介護施策など保健医療分野で予算化が実現しました。本年度は消費税率も変更になることから暮らしの質を高める施策と本市経済活動の活性化、夢と未来に希望が持てる施策を要望いたしました。



■ 10分野 要望項目について ■

- ① 財政改革を推進し財政健全化を目指して
- ② 一人ひとりが元気に輝くまちを目指して
- ③ 子どもたちがすくすく育ち、
夢と未来を育てる教育を目指して
- ④ 支え合いつながる人と地域の絆の構築
- ⑤ 安全・安心で良好な生活環境へ
- ⑥ 人と地球にやさしい持続可能な都市の構築
- ⑦ 誰もが魅力を感じる
「観光・MICE 都市福岡」の実現
- ⑧ 人流物流ともにアジアの拠点となる博多港
- ⑨ 好循環を生み出す力強い福岡経済へ
- ⑩ 魅力あふれる農林漁業の振興と発展

● 東区的主要な要望項目 ●

香椎副都心の早期整備と市民センター整備
地下鉄2号線と西鉄貝塚線の直通運転化
博多バイパス3号線の整備促進
九州大学移転跡地を活用した街づくり推進
子どもの夜間・救急医療体制の整備
公共交通空白地域へコミュニティバス導入
人口増に対応した新たな区役所機能の強化
アライメントへの都市高速道路の早期着工
JR香椎線の駅のバリアフリー化促進
和白干潟のラムサール条約登録の推進
香椎浜・照葉地域への交番の新設
流通センターの法規制改善による活用推進

山口議員 12月本会議で一般質問を行いました

ふるさと納税・観光拠点・就学援助について



2013年12月より本会議で一問一答ができるようになりました！

◆ ふるさと納税について ◆

自治体の取り組みとして5年が経過した「ふるさと納税」について、本市も行ってはいますが、告知が進まず低迷している現状を質しました。24年度は40件でしたので、今後の取り組みとして、(1)謝礼品として市有施設の無料招待券やオープントップバスの乗車券など加え寄付者が本市においでいただけるようにすること(2)寄付者に寄付金がこのように使われた等、アンサーチラシを作成しお送りすること(3)リピーターとして毎年、寄付いただけるようなサポーターズクラブを作ることなどを提案しました。

貞刈副市長の答弁で、福岡市に貢献したと実感できるような取り組みや山口議員の提案を参考に工夫改善を図るとの表明がありました。

◆ 観光の拠点について ◆

本市を經由し、壱岐対馬など訪問できるように案内を充実させることや本市滞在の時間を観光客が充実して過ごしていただくよう様々な提案しました。26年は大河ドラマも放映され、福岡にスポットが当たる点を指摘。福岡城のバーチャル見学会や能古島・博物館など回遊できる案内も提案し、当局は今後、施策を充実させると述べました。



◆ 就学援助(入学準備金)について ◆

福岡市の就学援助対象者は全体人数の割合で小学生23.6%、中学生26.8%全政令市中4番目の多さにあります。そこで入学準備金について新年度の5月以降の支給を入学前支給にするよう強く求めた結果、前倒しで検討すると教育長の答弁がありました。質問が新聞記事になりました



2013年12月18日(西日本新聞記事)

入学前に準備金支給も

児童、生徒に配慮前倒し検討

福岡市教委

福岡市教育委員会は17日、低所得世帯向けに支給する就学援助のうち、入学準備金の支給時期を、現行の5月以降から入学前へ前倒しすることを検討すると明らかにした。定例会議会一般質問で、山口剛司議員(公明)の質問に答えた。市教委によると、入学準備金はランドセルや文房具などの購入費用に充てる資金。小学校入学時に1万9900円、中学入学時に2万2900円をそれぞれ支給する。現在、市立小中学校に入学前の3月に保護者から申請を受け付け、入学後の5月上旬以降に支給している。本年度の総支給額は約1億2千万円。山口議員は「全ての児童・生徒が入学式までに学用品がそろえるように配慮してほしい」と指摘。酒井龍彦教育長が「申請を受け付ける学校側の事務負担や、受給後に他都市に転出した場合への対応など課題もあるが、実施方法を慎重に検討したい」と答弁した。

2013年12月25日(公明新聞記事)



私は、12月定例会の一般質問に立ち、市立小・中学校に通う児童・生徒の家庭に対する就学援助について、制度改善の必要性を訴えました。福岡市で就学援助を受け、小・中学校に通う子どもは全体の約25%(2012年度)です。経済苦の中、懸命に子育てをする家庭にとって、給食費や学用品代など学習に必要な費用を支援する就学援助は命綱といえます。

福岡市議

山口 剛司



就学援助 入学前の準備金支給を

援助策には、これに対し、酒井龍彦教育長は「学用品などを購入する時期を考慮した支援のあり方についても検討していく」と答えました。また、援助金の支給方法は、現状の制度では、同準備金が5月上旬に支給されるため、入学準備の時期には間に合わず、必要な学用品などがそろわないまま、入学を迎える子どもがいます。私は、こうした事態に「経済的な事情で子どもたちを悲しませてはいけない」と述べ、入学金準備金を前倒しする取り組みを提案しました。

新入学者対象者へ「費用を負担する時期を考慮した支援のあり方についても検討していく」と答えました。また、援助金の支給方法については、教室などで教師から児童・生徒に手渡され、援助を受ける子どもが「傷つく」事例も起きています。市は今後、保護者に直接支給するなど、学校への指導徹底を行う方針を示しました。私は、これからも子育てに「全力を尽くしていきます」。